

平成 30 年度事業計画書

現状を十分に把握し課題を克服するため、あらゆる機会を利用して会員や地域住民の声を聞き情報収集に努め、魅力的なシルバー人材センターに改善していくことが最も重要です。

生きがい就業や生活のための就業等、多様な事業展開に力を入れ、情報発信をして組織体制の確立に努めます。

「会員になって良かった」「頼んで良かった」と言われるシルバー人材センターを目指して、本年度も役職員・会員が一体となって、事業の推進に取り組み組織の活性化に努めていきます。

1 実施計画

(1) 円滑な事業運営と組織体制の確立

センターの抱えている課題や問題点を把握し、役職員が分析して組織体制の確立に努めます。

役職員が先進のシルバー人材センターを訪問し、事業運営の現状や課題、方策について学びます。

(2) 効果的な普及啓発活動と就業意欲のある会員の確保

ポスターやリーフレットの活用、各種会合の利用等、あらゆる機会を利用して、より効果的な普及啓発活動を推進します。

就業機会の確保、活動に対する理解と認識を深め、幅広い技能を持った就業意欲の高い会員の確保に努めます。

会員の口コミによる加入促進活動や、ホームページでの情報発信の機会を増やし、シルバー人材センターの活動を PR することで、会員拡大に努めます。

(3) 就業に関する知識・技能の向上

知識・技能の向上を図るため、各種講習会を実施し就業の促進に努めます。

技術や技能を持った会員から、指導を受けやすい環境をつくり後継者育成に役立てます。

(4) 安全・適正就業の推進

「安全就業ニュース」や「重篤事故事例集」などを活用し、自らのこととして共有し、安全意識の徹底とその高揚を図ります。

就業の適正化に取り組むとともに、就業基準に基づくローテーションの徹底により長期就業の是正を図ります。

- ① 安全就業対策推進員の配置
- ② 安全就業推進活動
- ③ 安全講習会の実施
- ④ 安全パトロール（就業現場巡視）の実施
- ⑤ 機械・安全保護具の点検整備
- ⑥ 安全保護具装着の勧奨
- ⑦ ヒヤリ・ハット体験事例の収集

(5) 会員相互の連帯強化と社会参加への支援促進

地域班会議を行い、会員相互の連帯意識と親睦・地域の発展に貢献します。

就業のみでなく、ボランティア活動を含め、多様な地域高齢者の社会参加ニーズに対応するため、会員同士や地域住民とのコミュニケーションを深める取り組みをします。

各種情報をセンター広報誌「あしすと」、事務局だより「いずみ」に掲載し、社会参加を支援します。

(6) 職業紹介・派遣事業の推進

請負契約にはなじまない業務等、高齢者の活用が見込まれる業種と連携をとり、企業のニーズに対応できるよう効果的な取り組みを行っていきます。

また、職業紹介・派遣事業に関する会員及び職員の資質の向上と研修を行い、労働関係法令の認知・情報収集に努めます。